

日本語力とセルフアドボカシー力を高める授業づくり

武居 渡
(金沢大学 学校教育系)

1

学習指導要領の中の自立活動

自立活動の指導は、個々の幼児児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を促す教育活動であり、個々の幼児児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に即して指導を行うことが基本である。

- 個々の子どもの特性等に応じた指導を行う。
→ 自立活動の目標はオーダーメイドになる？
- 個々の課題が集団の中で達成されるべきことの場合、学年の枠を超えた授業編成も可能。
→ 同じ授業内容の中で異なる到達目標を設定できる。

2

学習指導要領の中の自立活動

自立活動は、授業時間を特設して行う自立活動の時間における指導を中心とし、各教科等の指導においても、自立活動の指導と密接な関連を図って行われなければならない。

- 2つの自立活動
→ 特設自立 関する自立
- 教科学習の中で行うことのできる内容についてはあえて特設自立で行う必要はない。
→ 限りある特設自立を有効に使うって子どもに力をつけるには？

3

自立活動で考えるべきこと

- 限られた時間の中で、何を目標にするか？
→ 聴能？ 発音？ 読み書き？ 自己肯定感？
一般常識？ 就労意識？ 自己理解？
- 限られた時間の中で、何を行うか？
→ 発音指導？ 文法指導？ 手話？
コミュニケーション？ 自己理解？
- どんな形態で行うのか。
→ 取り出し指導？ 縦割り指導？ 複合？
→ 担任が指導？ 自立専科？ 級外？ ST？

4

聞こえない子どもに対する自立活動の柱

○個々の子どもの実態に応じて、増減可。

- 聴能・発音
- 語彙や文法指導
- コミュニケーション・語用
- 手話・先輩から学ぶ
- 自己理解
- 一般常識・就労意識
- 福祉サービス

5

ろう学校の自立活動の柱

○個々の子どもの実態に応じて、増減可。

要するに
日本語指導 と 自己理解

6

日本語指導の前に… コミュニケーションとは

子どもへの愛おしさ
 コミュニケーションの楽しさ

おとなへの信頼感
 コミュニケーションの楽しさ
 わかるということがわかる

7

コミュニケーション能力???

- ・この子はコミュニケーションの力が弱い
- ・この子のコミュニケーションの力を育てなければ

＝

＝

- ・私はこの子の言いたいことを汲み取る力が弱い
- ・私のコミュニケーションの力を育てなければ

コミュニケーションは個人の能力ではなく2人之间にある

↓

子どもの言いたいことを汲み取り、共感すること
 人への信頼 言語獲得のスタート

8

コミュニケーションと言語

言語がなければコミュニケーションはできないのか

↓

- ・0歳児の子ども
→泣き声や笑い、視線、ジェスチャーなどで意図を伝える
- ・重症心身障害者
→視線や頬の動き、わずかな発声などで意図を伝える

言語の前に**コミュニケーション**がある！

9

家庭内のコミュニケーション

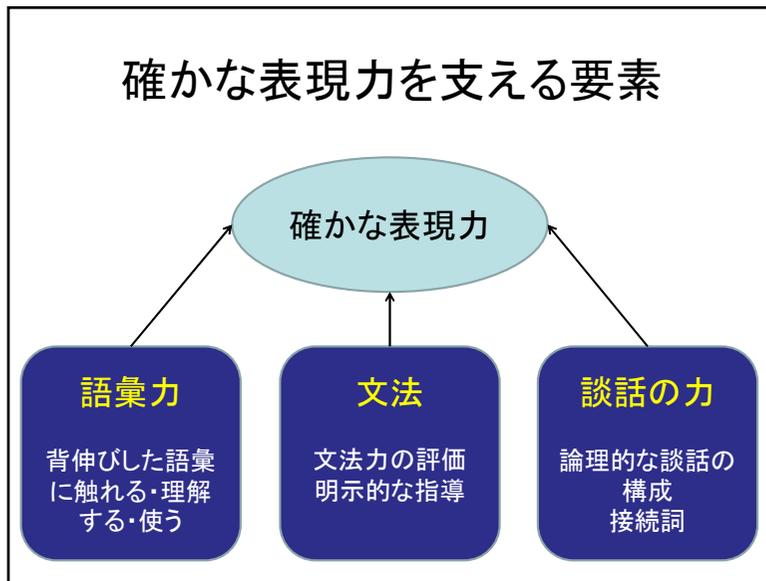
コミュニケーションは
教えるものではなく
育てるものである

- ・受験勉強の中の単語カード
→コミュニケーションの中で使えない

必要な文脈と環境を整えば、
自然にコミュニケーションは生まれる

伝えたい！
知って欲しい！

10



11

語彙学習に必要な力

- ・わからない語彙を抽出できる力
- ・わからない語彙の意味を理解する方略を理解する。

→ 前後の文脈から想像する
→ 人に聞く インターネットで画像検索
→ 辞書を使えるようになるのは一定の日本語力がある者に限られる

- ・学習した語彙を忘れないために。

12

ことばのネットワーク ー引き出しをたくさん作るー

- 日本語の場合
マジカルバナナ (意味の連鎖)

13

ことばのネットワーク ー引き出しをたくさん作るー

- 日本語の場合
意味連想ネットワーク

14

J-COSS (日本語文法テスト) とは

JCOSS: 日本語文法理解テスト
2部構成からなる意味と統語の理解テスト
1部: 2部で使う語彙のチェック
2部: 20ブロック80問からなるテスト

A: 名詞	H: XだけでなくYも	O: 主部修飾 (左分枝型)
B: 形容詞	I: XだがYはちがう	P: 複数形
C: 動詞	J: 位置詞	Q: 述部修飾
D: 2要素結合文	K: 数詞	R: 格助詞
E: 否定文	L: 受動文	S: 多要素結合論文
F: 3要素結合文	M: XもYもちがう	T: 主部修飾 (中央埋込型)
G: 置換可能文	N: 比較表現	

15

置換可能文

おんな こ うま お
25. 女の子は 馬を 押しています

16

位置詞

しかく まる なか
37. 四角は 丸の 中に あります

① ②
③ ④

17

受動文

うま おとこ ひと お
47. 馬は 男の人に 追いかけてられています

① ②
③ ④

18

J-COSSがなぜよいのか

- 文法指導に使える。
→何を理解していないかがわかる。
- 理解テストなので指さしで簡単に回答が可能である。
→手続きを工夫することで集団でも可。
- 聞こえる子どもの発達曲線が得られている。
→年齢ごとの通過率が得られている
- すでになんかろう学校で実施。

19

Aろう学校の結果

ブロック	3年				4年								5年				通過率				
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		Q	R	S	T
1 名詞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100%
2 形容詞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100%
3 動詞	3	1	0	2	0	0	0	3	3	3	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	60%
4 2要素結合文	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	80%
5 否定文	2	2	0	3	0	1	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	50%
6 3要素結合文	0	2	0	3	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	75%
7 置換可能文	2	1	0	1	1	2	0	3	2	3	0	3	2	0	0	2	0	0	3	2	35%
8 XだけでなくYも	3	2	0	3	1	1	0	3	3	3	0	1	3	3	2	2	0	0	3	3	20%
9 XがYは違う	1	1	0	1	3	3	3	2	3	0	3	0	0	0	1	0	0	0	3	0	25%
10 位置詞	1	1	0	0	2	0	1	2	3	2	3	0	1	2	3	2	3	0	2	2	10%
11 数詞	1	1	0	2	3	0	0	1	3	3	0	3	2	3	3	1	0	0	2	1	25%
12 受動文	0	1	3	1	1	2	3	3	1	2	2	1	3	1	2	1	0	2	1	0	0%
13 XもYも違う	2	1	3	0	3	0	3	1	2	1	0	3	1	0	1	0	0	0	1	0	20%
14 比較表現	2	1	0	2	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	2	1	0	0	0	2	15%
15 主部修飾(左分枝型)	0	1	3	1	0	0	3	1	0	2	0	1	2	2	1	2	3	3	3	2	15%
16 複数形	2	2	0	1	2	1	2	2	2	0	1	3	2	1	0	0	0	0	2	2	30%
17 述部修飾	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	10%
18 格助詞	1	1	0	0	0	0	2	2	0	2	0	3	2	1	1	0	0	1	1	1	15%
19 多要素結合文	2	2	0	2	3	1	3	2	2	0	2	0	3	2	2	3	0	0	0	0	35%
20 主部修飾(中央埋込文)	0	0	3	1	0	0	1	2	0	2	0	0	2	0	2	1	0	1	0	3	0%

20

ポイント！

- 小学校に入る前までに、置換可能文を通過しているかどうか。
→ ここを超えてはじめて文法の世界に入る。
- 小学校1年生の間に、位置詞や受動文などを理解できるようになるかどうか。
→ 教科内容を理解する上で不可欠。
→ 習得していない場合、誰がどの時間に指導するのか。

21

日本語で日本語を学ぶ段階

- 最終的には、多くの日本語に触れることで日本語を学んでいく
→ 日本語を学ぶエンジンをかけていく
ex. ハリーポッター
ex. ダジャレコンテスト
大人が本を読んでいる姿
- 作文は目的的に
→ 手紙 本づくり
※子どもを日本語嫌いにならない

22

ろう児のアイデンティティに 影響を与える要因

- ろう児の同年齢集団
→ かかとをつけて話せる集団
- 成人ろう者との出会い
→ 自分の将来像を形成するモデル
- 手話との出会い
→ ろう者の母語
- 親や教師の障害認識
→ 親や教師が「ろう」をどう捉えるか

23

聞こえない人が なれない職業はない！

- 医師
- 芸術家
- 教員
- 工員
- 弁護士
- 手話教育
- 研究者
- 団体職員
- 銀行員
- ダンサー
- 会社員
- 俳優・女優
- 薬剤師
- などなど

24

聴覚障害者として生きる —どんな人が就職できるのか—

- 手話か口話かに限らず、しっかりと話ができる。
- 読み書きの力が高い。
- 障害認識ができており、明るく安定した性格とアイデンティティ。
- 様々なメディアを活用して情報量が多い。
- 社会性より社会力。

25

合理的配慮とはなんですか？

- 権利条約のポイントの一つ。
- 第2条

「合理的配慮」とは、障害のある人が他の者との平等を基礎としてすべての人権及び基本的自由を享有し又は行使することを確保するための必要かつ適切な変更及び調整であって、特定の場合に必要とされるものであり、かつ、不釣り合いな又は過重な負担を課さないものをいう。



26

合理的配慮のポイント

- 障害のない人と同じスタートラインに立てることを保障。
- 障害のある人が現在認められている権利や基本的自由を保障されていること。
- 特定の場合必要とされる適切な変更や調整。
- 変更や調整の際、大きすぎる負担がかからないもの。

ex. 視覚に障害のある人の受験

墨字では事実上の排除になってしまう。

→ 点字で受験できるようにする

試験時間の延長

- 合理的配慮を提供しないことは間接差別にあたる(障害者差別解消法)

27

合理的配慮についての誤解

「配慮」という用語は本当に適切か？

配慮・・・心をくばること。心づかい。(広辞苑)

??? 心優しい人が障害のある人の苦労を慮って心づかいを行うことなのか???

英語では・・・

reasonable accommodation

理にかなった 便宜・調節

28

例えば聴覚障害を例に挙げると

- 聴覚に障害のある人がこの講義を受講。
講師が良かれと思って手話をしながら講義しても…。
- その人はノートテイクを希望しているかもしれない。
- FMマイクなどで音声を聞くことを希望しているかも。



一見、ニーズが一律と思われる聴覚障害であっても
個々人によって必要な事柄は異なる
↓
ましてや知的障害や発達障害は
人の数だけ必要な支援は異なる

29

合理的配慮の厳しさ

- 本人が支援を要望してはじめて、どのような支援が必要かの議論が開始される。
- 黙っていても自動的に支援を得られるものではない。

支援の要望がない場合、学校園は
何もなくてもいいのか

- **基本的には、本人の要望が第一。**
- **ただし、支援を育てることも学校園の責務であると考えられる。**

30

自分の障害特性ばかり扱うと…

- 自己理解は大切であるが、自分の障害特性ばかり取り上げると…
- 自分のできないところ探しになる
- 自己肯定感の低下
- 付き合う教師のしんどさ

1-αの自己認識ではなく
1の自己認識を形成するために



31

自己肯定感を培うには

- 多くの成功体験
→ 他者の賞賛と達成感
- 自己効力感(誰かの役に立っている)
→ 「ありがとう」と言われる経験。他者承認。
→ 一方的に世話される人にならない工夫。
- 同じ特性を持つ仲間との出会い。
→ 自分と同じ経験をしている人が他にもいる。
→ 愚痴や経験を話せる仲間の存在。

32